

平成 28 年 7 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 28 年 7 月 28 日（木）午後 2 時 30 分～午後 3 時 45 分

2. 場 所 市役所新館 4 階 第 2 委員会室

3. 出席者

委員長 谷口 馨 委員長職務代理者 野口 和江 委員 中野 俊勝
委員 河野 さおり 教育長 樋口 利彦

4. 事務局出席者

教育総務部長 小山 藤夫／学校教育部長 須賀 俊介／生涯学習部長 濱上 剛志
総務課長 大西 謙次／学校給食課 山本 隆彦／学校管理課長 山本 千尋
産業高校学務課長 古谷 利雄／人権教育課長 阪本 美奈子／生涯学習課長 西尾 征樹
スポーツ振興課長 藪 嘉正／郷土文化室長 小堀 頼子／図書館長 玉井 良治
総務課参事 倉垣 裕行／総務課参事 高井 哲也

開会 午後 2 時 30 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に中野委員を指名した。

傍聴人 0 名

○谷口委員長

ただいまから、7 月定例教育委員会会議を開催します。

報告第 49 号 平成 28 年度 岸和田市教育フォーラムについて

○谷口委員長

報告第 49 号 平成 28 年度岸和田市教育フォーラムについて、事務局から説明をお願いします。

○須賀学校教育部長

報告第 49 号につきましては、平成 28 年度岸和田市教育フォーラムについてです。

8 月 10 日（水）午後 1 時 30 分から岸和田市立浪切ホールの大ホールで開催いたします。テーマは、『ユニバーサルデザインを意識した教育を考える』、サブテーマは、「すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりをめざして」です。

内容は、開会セレモニーを岸和田市立産業高等学校のダンス部にお願いしております。その後、岸和田市教育委員会教育長より挨拶、岸和田市教育委員会から“岸和田市のユニバーサルデザインに基づく教育について”の説明を 10 分程度行い、八木小学校から実践発表をしていただきます。休憩をはさみまして、筑波大学附属小学校教諭 桂 聖様より講演をしていただきます。先

生は、有名な方で遠方からの申込みもあり、現在、300人を超える申込みをいただいております。大ホールで行いますので、まだまだ入ることができます。

○谷口委員長

300人を超える申し込みが来ているということですが、最終、どれくらいの申込みを見込んでいますか。

○須賀学校教育部長

今の倍は来てほしいと思っています。1階全て埋まるように頑張りたいと思います。

○中野委員

授業づくりで、特別支援教育を加えてユニバーサルデザインを意識した授業の考え方や手法など、結果的に全ての子供たちができる授業が進めば素晴らしいことだと思います。先行事例を参考にしますと、基調講演の桂 聖先生は、授業計画において「視覚化」、「焦点化」、「共有化」の3つを軸にされています。授業の中では、子供たちへの発問を重視して子供たちの発言を肯定的に捉えて、指導支援には個別にバリアフリー的な対応を、多くの子供に応じたユニバーサルデザイン的な対応をしてまとめられるということです。ユニバーサルデザインを意識した授業、実施の際の子供たちの対応がどうなのか、非常に興味があります。当日の教育フォーラムの内容を楽しみにしています。

教育フォーラムについては、2年かけて提案をし、事務局の努力で昨年度に第1回目を実施していただきました。今回、第2回目となりますが、内容がますます発展していくよう、また、本市の教育に繋がることを期待しています。よろしくをお願いします。

報告第50号 岸和田城天守閣の展示について

○谷口委員長

報告第50号 岸和田城天守閣の展示について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

報告第50号につきましても、岸和田城天守閣の展示についてです。

9月7日から来年1月15日までの会期で、「世界かんがい施設遺産 久米田池」のテーマで企画展を行う予定です。平成27年10月に大阪府の史跡・名勝でもあります久米田池が世界かんがい施設遺産に登録されました。狭山池に続き国内二例目ということで、久米田池に関わる内容の展示を行う企画をしました。文化財というだけでなく、灌漑用水として利用されているという視点から展示を行い、久米田池が地域の生活といかに関わりつがあるのかを皆さんに考えていただく機会にしたいと思っています。主な展示資料は、“牛滝川・久米田池図”、“久米田池郷・田治米村利水図”他30点です。広報きしわだ9月号、ホームページ等で周知を行っていきます。

○中野委員

久米田池は満水面積が府内第1位で、昔から地域の灌漑に利用されてきたということです。今回、この点を中心に展示されるので、池に流入する天の川の流水の様子や最近の宅地化による灌漑面積がどう変わったのかが分かるのかと興味深く思っています。

報告第 51 号 展示資料の寄附について

○谷口委員長

報告第 51 号 展示資料の寄附について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

報告第 51 号につきましては、展示資料の寄附についてです。

泉光寺に家臣団墓所に大きな五輪塔の柘植彌左衛門の墓が建てられていますが、その末裔にあたる方から、7月4日に柘植家関係資料一式をご寄附いただきました。寄附品名詳細につきましては、刀一本（三分割）や位牌等です。

○中野委員

柘植兵左衛門の仇討、特に岸和田藩との関わりが良く分かりました。柘植家御当家からの貴重で、確かなご寄附で非常に有り難いです。寄附品で刀が三分割になっているのは何故なのでしょう。

○谷口委員長

一族は東京にお住まいで、岸和田にどなたかがお住まいではないのでしょうか。

○小堀郷土文化室長

そうです。末裔の方が身寄りもなく途絶えてしまうことを危惧して、岸和田の岡部家にゆかりのある事情で、岸和田市にご寄附の申し出がありました。

刀の三分割のことについては、確認しておきます。

○谷口委員長

予定していました報告は以上です。他に何かありませんか。

○小堀郷土文化室長

自然資料館で監修しました「ちりめんモンスターのひみつ」という本を出していますので、報告いたします。

自然資料館の研究報告書ですが、学芸員が研究した内容をまとめていますので、ご覧いただきたいと思います。

○谷口委員長

他に何かありませんか。

ないようですので、議案の審議に移ります。

議案第 31 号 岸和田市通学区改正審議会委員の公募について

○谷口委員長

議案第 31 号 岸和田市通学区改正審議会委員の公募について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

議案第 31 号につきましては、岸和田市通学区改正審議会委員の公募についてです。

現在、丘陵地区で土地区画整理事業により開発が行われています。その中で住宅 250 戸、人口

1,000人規模の住居エリアができます。小学生や中学生の各学年に10人程度増える予測がされ、どの学校へ通学するのか設定する必要があります。そのことにつきまして審議会で審議をしていただきます。この審議会は、定員20名で構成されますが、内3名につきましては、公募委員としなければいけませんので、今回、公募するものです。

8月15日(月)から31日(水)までの応募期間内に、応募用紙と「岸和田らしいコミュニティと通学区のあり方について」の小論文を提出いただきます。

○谷口委員長

戸建てになるのでしょうか。大手の業者が販売するのですか。

○大西総務課長

そうです。戸建てで、大手のハウスメーカーが販売します。3期から4期に分けて、順次販売する予定になっています。来年度から契約が始まり、校区の問い合わせもありますので、今年度中に決めるものです。

○中野委員

条例に基づき公募するので、異議はありません。委嘱の日は、いつになりますか。

○大西総務課長

第1回目の審議会が、10月中旬に予定しています。そこで案を説明し、第2回目で答申をいただくかと考えています。ややこしい校区の選択にはならないと思います。

○中野委員

平成30年から順次販売ということですので、入居者にとって通学区は大きなポイントですので、早めに決めてあげる方が良いと思います。

○谷口委員長

他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第32号 平成29年度 市立幼稚園児の募集について

○谷口委員長

議案第32号 平成29年度 市立幼稚園児の募集について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

議案第32号につきましては、平成29年度 市立幼稚園児の募集についてです。

昨年度と同様にまず3歳児を9月に募集、決定し、その後10月に4・5歳児の募集を行いたいと考えています。3歳児につきましては、募集園9園になっています。今年度実施しました6園に朝陽幼稚園、大芝幼稚園、八木南幼稚園の3園を加えまして募集をしたいと考えております。応募が多数になると思われるので、10月6日(木)に公開抽選を行う予定です。

次に4・5歳児の募集ですが、昨年度と同様に3歳児の定員を除いた定員内で募集していきます。4・5歳児につきましては、定員を超える応募の予測はありませんので、10月の募集日程以外にも随時募集を行っていく予定です。

○中野委員

本市の多くの幼稚園は、小学校と併設されていて、今年度から天神山で、幼小一貫の取組みを行います。小学校との連携が非常に強いという特徴をPRしていただき、公立幼稚園に応募がくるような取組みをしていただけたらと思います。

○谷口委員長

他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 33 号 補正予算について（事業費補正）

○谷口委員長

議案第 33 号 補正予算（事業費補正）について、事務局から説明をお願いします。

○大西総務課長

議案第 33 号につきましては、補正予算（事業費補正）についてです。

平成 28 年度当初予算で計上していました予算に不足をきたすということで、第 3 回定例市議会に増額の補正予算をお願いするものです。

当初、民間の星光保育園が、平成 29 年度から幼保連携型認定こども園に移行し、定員 120 名から 135 名に増員し、園舎の大規模改修を予定していました。総事業費は 100,000 千円で、1 号認定と 2・3 号認定の定員で事業費の按分をして、保育課と教育総務課の持ち分を決めました。教育の持ち分としまして、事業費 11,111 千円でした。

変更がありましたのは、定員を 135 名から 140 名にすることで事業費が 132,413 千円と増額となり、教育の予算に不足をきたすことになりました。負担割合につきましては、国 1/2、市 1/4、施設側が 1/4 となります。

○野口委員長職務代理者

認定こども園に移行する民間保育園は、今後も増えていくのですか。

○大西総務課長

幼保連携型認定こども園に移行する民間保育園は、増えています。幼稚園から認定こども園に移行する園は、少ないです。

○野口委員長職務代理者

市内の私立幼稚園は、幼稚園のままなのですか。

○大西総務課長

そうです。移行するには、給食室や保育士が必要になります。

○野口委員長職務代理者

私立幼稚園でも預かり保育はできるのですか。

○大西総務課長

できます。

○中野委員

施設型給付の関わりなのですか。

○大西総務課長

そうです。新制度の施設型給付に関わりがあります。

○谷口委員長

他に何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 34 号 岸和田市学校給食センター設置条例の一部改正について

○谷口委員長

議案第 34 号 岸和田市学校給食センター設置条例の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

○山本学校給食課長

議案第 34 号につきましては、岸和田市学校給食センター設置条例の一部改正についてです。

学校給食センターの位置が、現在の三ヶ山町 448 番 5 から、8 月 1 日に岸の丘町が新設、住居表示の実施により、岸の丘町三丁目 6 番 60 号に変更となります。変更に伴いまして、条例の改正をお願いするものです。

○谷口委員長

何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 35 号 市立学校園条例の一部改正について

○谷口委員長

議案第 35 号 市立学校園条例の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

○山本学校管理課長

議案第 35 号につきましては、市立学校園条例の一部改正についてです。

9 月から天神山幼稚園を天神山小学校内へ移転することに伴い、市立学校園条例の一部を改正するものです。天神山町一丁目 1 番 2 号から天神山町一丁目 1 番 1 号へ変更となります。

○谷口委員長

何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 36 号 岸和田市文化財保護審議会分科会の設置について

○谷口委員長

議案第 36 号 岸和田市文化財保護審議会分科会の設置について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

議案第 36 号につきましては、岸和田市文化財保護審議会分科会の設置についてです。

平成 26 年 10 月に国の名勝指定されました岸和田城庭園（八陣の庭）につきまして、かつてから保存活用計画の策定を進めてきました。準備が整い、岸和田市文化財保護審議会の中に分科会という組織を設け、専門家の意見を反映させる機会として会議体の設置を考えています。岸和田

市文化財保護審議会規則第2条第2項の規定に基づく分科会の設置になります。以前、泉光寺の分科会を設置していました経過もあり、同様に設置を考えています。分科会は、5名の委員で構成し、委嘱期間は計画策定に伴う2年間で予定し、平成30年3月31日までとしています。

○中野委員

これまで八陣の庭名勝記念イベントを取組んだ実績を活かして、新たな取組みを加えていただき、八陣の庭の保護と活用についての有効な計画の検討を、審議会分科会の5名の委員をお願いしたいと思います。

○谷口委員長

他にご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第37号 岸和田市文化財保護審議会規則の一部改正について

○谷口委員長

議案第37号 岸和田市文化財保護審議会規則の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

○小堀郷土文化室長

議案第37号につきましては、岸和田市文化財保護審議会規則の一部改正についてです。

規則第4条と第5条で使用しています役職名に齟齬が生じていました。第4条では「会長」となっていますが、第5条では「委員長」としていましたので、「会長」に統一するため、規則の一部改正を行うものです。

○谷口委員長

何かご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第38号 岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における平成29年度使用教科用図書の採択について

○谷口委員長

議案第38号は、教科用図書の採択につき関係者以外は退席願います。

議案第38号 岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における平成29年度使用教科用図書の採択について事務局から説明をお願いします。

○須賀学校教育部長

議案第38号につきましては、岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）における平成29年度使用教科用図書の採択についてです。

岸和田市立産業高等学校（全日制・定時制）で平成29年度に使用する教科用図書について、教育委員会で採択するため、産業高等学校における教科用図書選定委員会からの答申を上程するものです。採択のご審議をいただくにあたり、産業高等学校の方から選定委員会の報告をさせていただきます。

《全日制》

○齋藤産業高校全日制首席

産業高等学校の教科用図書の選定委員会ですが、新カリキュラムに沿った指導が定着し、各教科において、現在、授業展開を行っているところです。今年度につきましては、教科書の選定、改訂、改編等がたくさんあり、在籍生徒の現状に合わせまして、教科書を使っていく中で、こちらの方が良いのではないかという視点で、現在の生徒に合わせてこの教科書の方が理にかなっている、という点を先生方に論議していただいて選定を行った結果、国語、数学、理科、外国語、家庭の5科目の教科書を新しく代えたいということで、本日お持ちしました。

【国語】「新高等学校国語総合」(明治 国総 354)

現代文編では、従来の定番教材に加え、生徒たちが視野を広げる機会となるような、新しい随想や評論・小説が数多く収録されている。中でも今後、読書に親しむ上で参考になるとと思われる「読書論」や、働くことの意味について考えさせる「労働論」、「グローバリズム」について論じた評論は、様々な視点から現代社会を捉え、生徒たちが理解を深めるのに適していると思われる。また、本文中に読解の助けとなり得る問いや脚注が多く設けられている点も良い。

一方、古典編では、有名な古文の代表作の名場面や、親しみやすい格言・故事成語が取り上げられており、それぞれに理解を促すような写真や絵も効果的に配置されている。また、現代作家による新しい現代語訳では、古文解釈の可能性の広がりを実感でき、生徒の興味と関心を喚起できると思われる。

【数学】「改訂版 高等学校数学A」(数研 数A 328)

基本的な考え方から、さまざまな計算や性質を学ぶことができる点や、巻末の課題学習では、本書で学習したことを活用し、自分の力で考えさせ、しっかりと学べる点があげられる。また、1年次で使用していた数学Ⅰの教科書と出版社を合わせる事で、レイアウトや解説の流れを統一することも選定理由としてあげられる。

【理科】「科学と人間生活 新訂版」(実教 科人 307)

説明が丁寧で、各分野とも基本的な概念をきちんと理解できるように記述されている。また、図や写真がたくさん掲載されており、内容の理解を助けるように構成されている。

光・エネルギー・環境といった言葉を共通概念として、各分野を関連させて記述してあるので、分野の枠を越えた学習も可能である。

各項目が見開きで完結しているので、見やすくなっている。

防災等の特集ページがあり、生徒の興味を喚起できる。

【外国語】「Power On English Communication I」(東書 コI 329)

教科書前半では、中学校で学ぶ文法事項を取り扱っており、復習を通して基礎学力の定着を図

るだけでなく、生徒の理解度野把握に繋げることもできる。題材は、身近な話題から国際的な話題まで幅広く扱っており、生徒の興味、関心を引き出す事ができるようになっている。本文内容を用いた活動として、パートごとに英問英答や要約ができるようになっており、レッスンごとに「聴く」、「書く」、「話す」といった統合活動もあり、生徒自身が考え、取り組む活動が多く含まれ、練習問題も豊富である。デジタル教材も充実しており、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度も養うことができる構成となっているため、本書を選定した。

【家庭】「新家庭総合パートナーシップでつくる未来」(実教 家総 309)

基礎的・基本的な学習事項がていねいに過不足なく記述されていて、具体例も豊富である。調理実習・衣服実習・介助実習など、実習に十分な分量をさき、座学分野とのバランスがとれていて、生徒が学習しやすいように工夫されている。カラーの写真やイラストなども豊富に掲載されており、表やグラフも見やすく工夫され、生徒が興味をもって学習できる。難解な用語などは、側注などで解説してあり、生徒が理解しやすい。随所に囲み記事が設けられていて、授業展開において具体例として活用できる。また、各単元のはじめに、学習の動機付けとなる導入が設けられており、学習のねらいが明確である。

○中野委員

単位数が分かりません。以前にカリキュラム表を事前に届けてほしいと言っていましたが、いただいていません。該当する教科書で、国語4単位、数学2単位、理科2単位、外国語3単位、家庭2・3年で各2単位だと思います。

○齋藤産業高校全日制首席

そうです。

○中野委員

教科書の大きさが気になっています。昨年に中学校、おとしに小学校の教科書を採択しましたが、ほとんどA4サイズの大きさになっていました。B版だと小さく、1ページに掲載する量が少なくなります。大きさの検討はされなかったのでしょうか。

○齋藤産業高校全日制首席

テキストの大きさについて検討したということは聞いていません。あくまでも中身で検討しました。

○中野委員

大きさも一つの要素になると思います。

A4になれば両サイドが空いてきて側注など、いろいろ入る要素があります。

国語につきましては、国語と言えども視聴覚的な要素、特にICTの活用など生徒に強いインパクトを与え良いことだと思いますので、掲載されている写真だけに限らず、もっと取り入れてもらう方が良くと思います。そういう内容が配置されているのは、生徒の理解を助ける要素になりますので良いと思います。

数学につきましては、数Iと同じ出版社になるということで、レイアウトや解説の流れを統一

した勉強ができることは良いことだと思います。

○谷口委員長

1年生から変わるということになれば、2年生、3年生の時に同じ出版社の流れでいくことを踏まえて、決定ということになるのですか。

○齋藤産業高校全日制首席

そのことも考えた上でのことになります。

○樋口教育長

数学の教科書の大きさは、だいたいこの大きさになるのですか。

○齋藤産業高校全日制首席

以前に使っていた教科書も同じ大きさです。

○樋口教育長

数学で言えば、生徒の実態もそうですが、連続した流れの使用した教科書は良いことだと思います。基礎・基本と発展・活用と言われているので、理由の前半に“活用し”とあり、この教科書は良いと思いました。

○齋藤産業高校全日制首席

その年度の全ての科目の教科書が届く際にも、いろいろな大きさがあります。大きさが統一される傾向にあるのかと言われると、そうではないと思います。

○中野委員

中学校の教科書を見られたことはありますか。また見てください。生徒がその大きさで見慣れているのであれば、大きさも考えてもらう要素になると思います。

○齋藤産業高校全日制首席

参考にさせていただきます。

○中野委員

出版年度との関係だと思いますが、理科の周期表の元素番号113ニホニウムが載っていないのが、残念に思いました。

○齋藤産業高校全日制首席

理科の先生も言っていました。おそらく周期表に載ってくるのは、もっと先になると思いますと言っていました。

○野口委員長職務代理者

国語で、従来の定番教材に加え評論が良いとありますが、高等学校での国語の教科書の観点では、評論の内容が重視されているのですか。現代文においては、評論を重視して選択されているのですか。

○齋藤産業高校全日制首席

読書をする前に、読書をするにあたっての心構え的などころでの読書論が先に出てきています。そういうところも踏まえまして選ばれていますと聞いています。

○野口委員長職務代理者

定番教材というのは小説ですか。

○齋藤産業高校全日制首席

そうです。

○中野委員

外国語について、“レッスンごとに「聴く」、「書く」、「話す」といった統合活動”とありますが、英語の4技能でここに「読む」が入るはずですが、「読む」が入っていないのは何故でしょうか。「読む」は、非常に大事な要素で、例えば、読み方では“速読”や“シャドウイング”があり、発音は大きな要素です。4技能で統合活動は分かりますが、「読む」が入っていないことには何か意味があるのでしょうか。

○齋藤産業高校全日制首席

今までのテキストには、「読む」に力が入っていたのではないかと思います。「聴く」、「書く」、「話す」についても力を入れていくという考え方だと思います。

○中野委員

そうであっても、「聴く」、「書く」、「話す」、「読む」の4点セットだと、そういう意識をもっていないといけないと思います。教科書どうこうではなく、理由としてそう思いました。

家庭科について良く分かりませんが、理由の後半に“現在使っている”というのは、平成28年度の2年生、3年生の話ですね。

○齋藤産業高校全日制首席

そうです。

○中野委員

今回採択する教科書は、来年度の2年生で使用して、来年度の3年生は今使っている教科書を使用していくと解釈して良いですか。

○齋藤産業高校全日制首席

はい。2年生、3年生で共通したテキストを使用していくことになります。来年度の新2年生から使用します。

○谷口委員長

他にご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

《定時制》

○杉本産業高校定時制教務主任

平成29年度使用教科書の選定ということで、本日、2冊お持ちしました。

定時制では、2年前から教育課程のマイナーチェンジを実施していきまして、年度進行で少しずつ新たな教科、科目が入ってきますが、今回お持ちしました教科書は従前の教科書からの変更ではなく、新たな科目を採用することによる変更になります。

平成29年度に入学してくる新1年生で使用する予定の教科書です。単位数は4単位の設定で、

週4時間の4単位ではなく、定・通併修の通信制のスタイルで履修させる教科書になりますので、週4時間授業があるものではありません。

【地理歴史】「新編詳解地理B改訂版」(二宮 地B 305)

平成29年度に入学してくる新1年生で使用する予定の教科書です。単位数は4単位の設定で、週4時間の4単位ではなく、定・通併修の通信制のスタイルで履修させる教科書になりますので、週4時間授業があるものではありません。

変更の理由は、教育課程変更に伴う新規採用である。カラーイラストが豊富で、地理的技能の構築にも役立ち、生徒が視覚的に捉え、能動的に考察できる題材を取り上げている。また、殆どのページで補足事項も多く記載されており、地理を基礎から発展的な項目まで学ぶことのできる教科書である。本校生徒への身近な地理的情報が紹介でき、興味・関心を引き出す構成となっているため選定した。

○杉本産業高校定時制教務主任

平成29年度に入学してくる新1年生で使用する予定の教科書です。単位数は4単位の設定で、週4時間の4単位ではなく、定・通併修の通信制のスタイルで履修させる教科書になりますので、週4時間授業があるものではありません。

【商業】「ビジネス情報」(実教 商業 322)

教育課程変更に伴う新規採用である。イラストや現物写真、コンピュータ操作画面の提示が豊富で、イメージさせやすい構成となっている。情報通信ネットワークやサーバーの仕組みなど、普段目にするのが難しい内容を扱う上で、生徒が学びやすい教科書であると考え選定した。

○杉本産業高校定時制教務主任

新3年生の履修予定で、履修単位は2単位になります。本校で定時制科目として実施する授業ですので、週2時間、時間割に入ります。

○中野委員

全日制でも言いましたが、教育課程が変更になっていたら、全体の新しいカリキュラム表の用意をお願いします。

通信制であれば、レポート作成をしますので、教科書は詳しい方が良いでしょう。地理Bになったのは、そのことを考えたのですか。

○杉本産業高校定時制教務主任

元々の教育課程の変更のスタンスは、必履修科目をきちんと丁寧に授業を実施したいと、大きなビジョンとしてありました。現行の教育課程というのは、例えば、国語であれば国語総合という授業が4単位の必履修設定となっていますが、長年、定時制、通信制の併修という形で3年で卒業させるスタイルをとってきた関係で、定時制で2単位、週2時間国語の授業を行って、あと2単位については、通信制いわゆるレポートを配布して、自宅で自学自習するスタイルで合計4単位を確保してきました。その設定は、学習指導要領が変更される前の必履修科目が二種類あつ

た頃の名残が残っていて、今の指導要領は必履修科目が各教科一つしかありません。以前は、二つのうちどちらかを履修していれば卒業要件を満たすということだったので、毎時間、授業を行う定時制だけではなく、通信制でもするように、抱き合わせの4時間を確保していました。現在は、一種類しかない授業を2時間は学校で授業を行い、あと2時間は家庭ですということ、定時制に学びに来る生徒にとって丁寧ではないので、きちんと授業時間を確保して、必履修科目を履修させたいということがありました。課程表には載っていませんが、これまで定時制と通信制の二つのやり方で、何とか単位数を確保していたものを改めようという動きがありました。国語総合も来年入ってくる1年生からは、1学年で2時間行い、2学年になってからもう2時間行い4単位を確保します。1年生で学ばせている「Communication I」の授業も、今のところ定時制の授業で2時間、通信制で2単位の合計4単位としています。それも改めて、定時制の科目として、学校で週3時間、授業として展開したいという思いがありましたので、大きく変更がありました。地理歴史は世界史に加えて、あともう一つ地理分野もしくは日本史分野が履修の条件になっています。定時制の場合は、全日制に比べると授業の時間数が少なくなっていますので、全てを定時制課目にして、週2時間ないし3時間授業を展開するのは無理があります。地理歴史の分野においては、世界史に関しては定時制授業で週2時間きっちり授業を行い、あともう一つ履修の条件をそろえなければならない地理分野もしくは日本史分野については通信制の併修を制度として使わせてもらって、学ばせる形をとるという風に変更をしてはどうかと話が出ました。

○中野委員

いつでも良いので、変更になったカリキュラム表を届けていただきたい。確定していますよね。

○杉本産業高校定時制教務主任

はい。校内では次年度からこれで行こうという話にはなっています。

○中野委員

今の話も表を見てみないと、なかなか理解しづらいので、出して良い時で結構ですのでお願いします。

○杉本産業高校定時制教務主任

はい。

○中野委員

商業の出版社は少ないですね。

○杉本産業高校定時制教務主任

この科目は、2～3社あります。課目によっては、1社ないし2社しか出版がないものもあります。実物写真や操作画面の提示が豊富であったのが決め手だと聞いています。

○中野委員

旧課程との対応しかできませんが、ビジネス実務がこう変わったのですか。

○杉本産業高校定時制教務主任

商業演習というものが3学年にあると思いますが、その2単位分になります。

○谷口委員長

他にご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

議案第 39 号 岸和田市立小学校・中学校における平成 29 年度使用教科用図書の採択について

○谷口委員長

議案第 39 号に入る前に、関係者以外は退席願います。

それでは、議案第 39 号 岸和田市立小学校・中学校における平成 29 年度使用教科用図書の採択について事務局から説明をお願いします。

○須賀学校教育部長

議案第 39 号につきましては、岸和田市立小学校・中学校における平成 29 年度使用教科用図書の採択についてです。

小学校・中学校における教科用図書の採択については、既に採択済みですが、毎年 8 月 31 日までにしないといけません。ただし、1 回採択すると 4 年使用するとなっています。

法の規定もありますので、きちんと議案で上げていく方が良いということで、今回、上げさせていただきました。小学校、中学校とも、前回、採択しました教科書を使用したいと思っておりますので、採択をお願いします。

○中野委員

昨年、中学校、一昨年、小学校と非常に力を入れて教科書採択しました。その後、使ってみて使いにくいとかがあれば見直さなければいけません、その点如何ですか。

○須賀学校教育部長

そういうことは挙がってきていませんが、小教研、中教研で聞いていきたいと思えます。

○中野委員

特にそういうことがなければ、継続でお願いします。

○谷口委員長

他にご意見ございませんか。ないようですので原案のとおり承認します。

○谷口委員長

これもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 3 時 45 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員